

## 平成20年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館 第一会議室		
開催日時	平成21年8月30日午後13時30分		
会員総数	27名		
出席会員数	24名	内訳	本人出席 9名 委任状提出 15名

### 1. 開会挨拶

スミス理事長により開会の挨拶があった。

### 1. 議長選出

会員谷尾洋介氏が議長に選出され、定款の規定により総会定数を満たしたので会が成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

### 平成20年度事業報告

#### 1. グリーンスポーツ鳥取の運営、行政関係

スミス理事長より以下の報告があった。

- ① グリーンフィールドの芝生の状態は昨年どおり良い状態が保っている。
- ② スポーツクラブの EASE フットボールクラブ、湖山ラグビーフットボールクラブ、湖山ヘレンシアホッケークラブの活動拠点としての役割を果たしました。
- ③ 鳥取方式による芝生の維持管理に対する理解を県内外に深める成果があった。
- ④ 地元住民によるグリーンフィールドの利用、住民主導のイベント利用は年々増え、「芝生」の利用方法や芝生に対する理解がさらに深まった。
- ⑤ 昨年に引き続き、鳥取市児童家庭課・都市計画課・鳥取県体育協会より依頼があり保育園・街区公園・小学校の芝生化指導を実施した。
- ⑥ 今年度も日本サッカー協会実施の「グリーンプロジェクト」の技術指導を頼まれて、承諾した。
- ⑦ グリーンフィールドで実証された「鳥取方式による芝生化」が複数のマスコミに取り上げられ、全国規模での認識が深まり県内外の行政との間で技術指導の契約を結び支援活動の範囲がさらに広まった。

#### 2. グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

現在湖山KRFC・EASEフットボールクラブ・エレンシアホッケークラブがグリーンフィールドで練習をしている。維持管理費は昨年より減少してきている。

芝生化事業としては

- ① 鳥取県体育協会「校庭芝生緑化支援事業」として、鳥取県内の保育園・小学校を7箇所の芝生化を行った。
- ② 鳥取市児童家庭課「保育園芝生化事業」として、鳥取市城北保育園・鳥取市美和保育園・鳥取市さつき保育園の3箇所はスプリンクラーを設置して芝生化を行った。

- ③ 鳥取市都市整備部「公園・広場芝生化実験：裸足で遊べる公園づくり」においては、西品治公園・南町公園・北園二号2号公園等、市内計9箇所の芝生化を行った。これは地元住民の協力で芝生化し、鳥取市が管理するものである。
- ④ 日本サッカー協会が昨年度から実施する「JFAグリーンプロジェクト」に対して技術指導を行い、全国計50箇所、小・中学校の校庭芝生化を支援している。
- ⑤ その他の個別事業として、全国のNPO等の協力もあり、境港市子育て支援課5つの保育園・松江教育委員会芝生化モデル事業3つの小学校・東海市子育て支援課4つの保育園等34箇所、合計103箇所を行った。
- ⑥ 5年経って「鳥取方式」が全国各地に受け入れられ、我々の活動の第一段階が終った。これからは第二段階として芝生化と維持管理の組織化を確立していかなければならない。

### 3. EASEフットボールクラブ

神近理事欠席のためスミス理事より以下の報告があった。

今年中学生の枠をつくった。ジュニアに比べて一般はあまり良い結果を残せなかったもので、今後は頑張りたい。

### 4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

福田理事より、以下の報告があった。

広島スタジアムでジュニアの中国ブロック大会が開催され、湖山ラグビーフットボールクラブのジュニアチームが鳥取県代表として参加し、予選ラウンドを2試合2勝で通過。本戦では準々決勝で岡山市立高島小学校に5-7で負けてしまいました。結果は悔しいが、自由奔放にグラウンドを駆け回る選手達のプレースタイルは多くの観客を魅了した。

### 5. 自治会との連携

岩井理事より、以下の報告があった。

自治会としてはグリーンフィールドの維持管理及びGSTの運営に対して深く理解しており、これからも支援・サポートして行く。

#### 壮年団との連携

今年も納涼祭を実施し多数の参加者でにぎわった。また、10月4日にも地区の子どもたちとの交流事業で「タグラグビー」を計画している。

### 6. 決算報告

事務局太田より、平成20年度の決算報告があった。

前年度からグリーンフィールド関連の非営利活動事業と芝生化支援の収益事業に分けて決算書を作成している。非営利部門は視察団体から頂戴しているバス代負担金の余剰資金を視察参加者の承諾を得て当NPOへ寄付して頂いて、非営利の雑収入が昨年より増えている。収益事業に関しては前年度の収益見込み案より収益が6千万円ほど少ない。主な理由は予算していた岡山の大学のグラウンド及び滋賀のびわこ成蹊スポーツ大学のグラウンド整備事業が中止になった為と説明があった。技術指導料が頂けるようになり、事業収入と事業経費の割合が変わってきている。

### 7. 会計監査報告

法人監査である井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適切かつ正確に処理されていることを認める」との報告があった。

## 8. 質疑応答・承認

会員より「岡山の大学のグラウンドの芝生化が中止になった理由は何ですか？」という質問があった。

スミス理事長より、「グラウンドが住宅街に隣接しており、夜遅くまで大勢の若者が集まって騒いだり、最悪事件でも起こりかねないと住民の反対により実現出来なかった。芝生化そのもの自体に反対している訳ではない」との回答があった。

以下質問及び異議がなく、20年度の事業報告ならびに決算報告及び監査報告が、満場一致により承認された。

## 9. 理事の異動

スミス理事長より前理事の神近勇太氏が EASE 脱会のため辞任し、後任として EASE の田中英剛氏が就任した旨の報告があった。

### 平成21年度事業計画

#### 1. 21年度の事業計画

当法人の目的である地域密着型スポーツクラブの育成の場及び地域住民の生活の中の「芝生の広場」の利用を通じての町づくり促進の為、芝生広場を維持管理すること。

昨年の12月には朝日テレビ制作の報道番組で全国放送され、鳥取方式はますます知名度が上がり、多方面からの依頼も増え、日本サッカー協会を含む行政からの依頼に対して学校の校庭・空き地芝生化の支援活動を活発にして行くこと。

現在進行中の鳥取市児童家庭課・都市計画課・鳥取県体育協会の保育園・街区公園・小学校の芝生化事業のさらなる拡大を期待している。

県が技術指導料に対してようやく理解を示してくれたので、来年度より県立学校に対して GST が維持管理を行っていく事になった。

#### 2. グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

グリーンフィールドの状態が現在の利用に対して全く問題はなく、利用増加を期待したい。

芝生化事業としては

- ① 鳥取県体育協会、鳥取市児童家庭課及び鳥取市都市整備部の芝生化事業の拡大が期待され、それに対する支援を続ける予定。
- ② 日本サッカー協会の「芝生化の技術指導」も一段とレベルアップが要求され、それに対応出来るための体制作りをして行く。

#### 3. EASEフットボールクラブ

今年度から県協会の中学生チームが参加するホームアウェイ方式の大会に EASE のクルセールが参加し、グリーンフィールドが正式競技場として使用されることになった。その他、全チームの会員増加及び強化に向けて頑張りたい。

#### 4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

会員増加が急務であり、次のシーズンに向けて試合日程を組み始めている。ジュニア一部に関しても会員募集し、中国大会の優勝を目標に10月から練習を開始する。

#### 5. 自治会との連携

今まで通りの支援・サポートを継続して行う予定。

壮年団では来春今年度行えなかった「あおぞらフリーマーケット」を実施する予定。

#### 6. 定款改正（会計年度変更）

当法人が携わっている行政機関等の会計決算の関係で会計処理を円滑にするため、定款 49 条で定まっている事業年度を従来の 7 月 01 日より翌年 6 月 30 日まで 4 月 01 日より翌年 3 月 31 日までとする定款改正案が提出され、満場一致で承認された。

#### 7. 21 年度の予算案

決算同様に平成 21 年度の予算案が非営利活動・収益事業別に提出された。21 年度は事業年度の変更により 9 ヶ月間の変則決算とに基づく予算案が提出された。新しい事業として鳥取県立学校の芝生維持管理に対する指導・助言料が盛り込まれている。

#### 8. 質疑応答・承認

会員より 予算・事業案に対する質問がなかった為、21 年度予算案が、満場一致により承認された。

#### 9. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致で、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後 2 時 30 分に閉会を宣した。

#### 1. 議長解任

決議事項等が終了した為、議長が解任された。

#### 1. 閉会の挨拶

スミス理事長よりマスコミにたくさん取り上げられて、全国から注目をあび、多くの問い合わせが来ています。視察も今年度 14 4 団体が来られています。また鳥取県教育委員会とも技術指導料の契約を結び、ようやく GST の活動・技術指導の大切さがわかっていただけたと思う旨の話があり、総会を閉会した。

平成 21 年 8 月 30 日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議 長	谷 尾 洋 介	印
会 員	ニール スミス	印
会 員	中 野 淳 一	印